

二〇二五年度

広島文教大学一般選抜(前期S日程)問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 二、本冊子は13ページあります。落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所を見いだした場合は、すみやかに監督者に申し出なさい。
- 三、解答は必ず解答用紙の指定された箇所に入力しなさい。
- 四、受験票に記載された受験番号を、本冊子と解答用紙の指定欄に入力しなさい。
- 五、字数制限の場合は、句読点等の記号も一字と数えます。
- 六、この科目の試験時間は七〇分です。
- 七、本冊子は試験終了後、解答用紙とともに提出しなさい。

受 験 番 号			

[I] 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

(出典・源河亨『「美味^{おい}しい」とは何か』)

問一 傍線部②③のカタカナは漢字に直し、また漢字は読みを答えよ。

問二 空欄 A 〳 E に入る語句として最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

ア これに対し

イ 別の例として

ウ もちろん

エ 他方で

オ 次に

問三 傍線部①「おいしい」「まずい」という言葉と、「甘い」「辛い」といった言葉は、カテゴリーが違うものだと考えられる」とあるが、その理由を説明した文として最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

ア 辛い麻婆豆腐が「おいしい」と判断する根拠を「辛い」ということだとすると、甘かったり、酸っぱかったり、

苦かったりという様々な味の「おいしい」があっても良いことと矛盾し、麻婆豆腐は結局のところどのような味でも「おいしい」と判断できるから。

イ うまく作れた杏仁豆腐は「甘くておいしい」が、甘くない杏仁豆腐は「まずい」に決まっているので、「甘い」か甘くないかが「おいしい」と「まずい」の判断基準としての妥当性があるといえ、甘くない食べ物はすべて「まずい」ものであるから。

ウ 辛い麻婆豆腐が「おいしい」と判断する根拠を「辛い」ということだとすると、「甘い」杏仁豆腐は辛くないので「まずい」ということになってしまいが、実際には「おいしい」ので「辛い」ということを根拠とすることに矛盾が生じてしまうから。

エ うまく作れた杏仁豆腐が「甘くておいしい」のに対して、甘すぎる杏仁豆腐は「甘すぎてまずい」と判断される場合があるが、結局のところ「おいしい」か「まずい」かは個人の好みによる部分が大きいので、甘すぎるからといって「まずい」とはいえないから。

オ 辛い麻婆豆腐が「おいしい」と判断する根拠を「辛い」ということだとすると、「甘い」杏仁豆腐は辛くないので「まずい」ということになるが、麻婆豆腐と杏仁豆腐は同じ豆腐であっても食べ物として異なるので、「おいしい」と判断する基準は決めることができないから。

問四 傍線部②「他方で、記述的判断は物事のあり方を単に述べたものである」とあるが、「物事のあり方」とほぼ同内容の語句を、本文中より一五字以内で抜き出せ。

問五 「評価的判断」「記述的判断」について説明した文として最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

ア 評価的判断とは、「おいしい」のような判断のことで、そのような判断によって「また食べたい」という思い

に基づく行動が促されるということ。

イ 記述的判断では、信号機の青や赤の色のように、青の場合は進む、赤の場合には止まるという行動が促されるということ。

ウ 記述的判断では、牛にとっての赤のように、色を判断したうえで突進したくなくなるという行動が促されるということ。

エ 評価的判断とは、肯定的な価値を持つとみなすことで、対象との関わりを増やそうとする行動が必ず実行されるということ。

オ 記述的判断では、ポストの赤のように、赤色をしていることでポストであると認識し、投函という行動が促されるということ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

(出典・村上陽一郎『文化としての科学／技術』)

注 *C・バベッジ—イギリスの数学者。 *ジャーナル—専門的な記事や論文を公表するための学術誌や雑誌。 *P・

ファイヤアーベント—アメリカの哲学者。 *K・ポパー—イギリスの哲学者、思想家。

問一 傍線部②③のカタカナは漢字に直し、また漢字は読みを答えよ。

問二 傍線部①「一九世紀の科学者たちは、その活動の場を大学に求めると同時に、自分たちの共同体を形成することに努めた」について説明した文として最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

ア 一九世紀前半では、科学者たちは、自分たちの存在を当時の王室に対してアピールするために共同体を造っていたのに対して、一九世紀半ばになると、国家、一般の人々に対して広く科学の宣伝を行い、自分たちに対する支援を得るために共同体を造るようになった。

イ 一九世紀前半では、科学者たちは、自分たちの社会的権利をアピールするために、広い意味での「国」を枠組みとして共同体を造っていたのに対して、一九世紀半ばになると、「国」や言語にかかわらず専門領域ごとに集まり、共同体を造るようになった。

ウ 一九世紀前半では、科学者たちは、「国」や言語の制約を受けながら細々と同じ専門の科学者同士で集まり共同体を造っていたのに対して、一九世紀半ばになると、そのような制約はなくなり、さらに専門の枠も超えて集まり、共同体を造るようになった。

エ 一九世紀前半では、科学者たちは、専門ごとに集まり自分たちの専門領域の宣伝のために共同体を造っていたのに対して、一九世紀半ばになると、「国」における自分たちの社会的権利の保証のために共同体を造るようになった。

オ 一九世紀前半では、科学者たちは、細かい専門領域に分かれて共同体を造っていたのに対して、一九世紀半ばになると、専門の枠ではなく科学という枠において自分たちの社会的権利の保証のために共同体を造るようになった。

問三 傍線部②「今日われわれがその言葉によって理解しているような意味での「科学者」が行うことを、「定形的」、「集積体」の二語を用いて説明せよ。

問四 空欄 A、B に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|
| ア | A | 暗示的 | B | 完結的 |
| イ | A | 批判的 | B | 中心的 |
| ウ | A | 閉鎖的 | B | 批判的 |
| エ | A | 完結的 | B | 閉鎖的 |
| オ | A | 中心的 | B | 暗示的 |

問五 傍線部③「もし科学に定形的方法論があり得るとすれば、それは「何でも構わない」という原理のみだ」とあるが、

このような主張が成り立つと筆者が考える理由を説明せよ。